

〈資料 1〉

平成28年度

第2回宇治市小中一貫教育推進協議会 資料

平成29年3月14日（火曜日） 18時00分～
宇治市役所 602会議室

目次

1	平成28年度宇治市小中一貫教育中学校ブロック活動状況	…	2
2	平成28年度中学校ブロック年度総括表		
	・ 宇治中学校ブロック	…	4
	・ 北宇治中学校ブロック	…	5
	・ 槇島中学校ブロック	…	6
	・ 西小倉中学校ブロック	…	7
	・ 西宇治中学校ブロック	…	8
	・ 南宇治中学校ブロック	…	9
	・ 宇治ひろの学園（広野中学校ブロック）	…	10
	・ 東宇治中学校ブロック	…	11
	・ 木幡中学校ブロック	…	12
	・ 宇治黄檗学園（黄檗中学校ブロック）	…	13
3	平成28年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告	…	14
4	平成28年度宇治市小中一貫教育度に係る視察受入状況	…	15

平成28年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(2)

一貫教育課									
	◎ ブロック目標 ◎ 運営組織体制 □ チームリーダー・校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	◎ 合同研修会	◎ 夏期研修会	◎ 授業研究会	◎ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	◎ 保護者・地域を巻き込んだ取組	◎ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	◎ その他 □ 研究指定事業 ◇ 小・小連携	
6 南 宇 治 中 B	◎「夢や希望を持ち、未来をたくましく生かす児童生徒の育成」 □推進委員会(校長・教頭・コーディネーター・専任部長・主任・部長)7専門部会 □中学校教務主任 ◇【府・理科】	◎小中合同研修会3回 (5/19・6/24・8/22)	◎夏期研修会(8/22) ・各部会	◎授業研究会 ・外国語活動部 ・西大久保小・外国語活動の授業 ・英語の授業 ・事前研・事後研実施	◎小学6年生授業・部活体験 ◎中学生による小学生指導式 ◎地域清掃ボランティア活動 ◎児童会生徒会合同金機 ◎児童会生徒会合同あいさつ運動	◎土曜参観 ◎三校合同講演会 ◎グローバルフェスタin南宇治参加 ◎西大保新春三世代交流会(1月)参加 ◎平盛ふるさとまつり(2月)参加 ◎大久保青少年指導センター子ども文化祭(3月)参加	◎学力診断テスト活用 ・学力充実部による学力テストの交流・分析	◎小・小連携授業 「韓国外国人児童生徒理解学習」 講師 ・平盛小日本語教室担当教員 ・南宇治中中文書 平盛小4年生対象「ダンスと歌によるコミュニケーションづくり」 ことばの力育成研究事業(西大久保小・平盛小・南宇治中)	
7 広 野 中 B	◎「夢や希望を持ち、未来を切り拓ける児童生徒の育成」 □学校運営部会(ブロック校長会)・教頭部会・専務部会 □コーディネーター部会・専門部会 □小学校教務主任 ◇【府・数・理】	◎宇治ひろの学園小中一貫教育研究会 (5月、8月)	◎夏期研修会(8月)	◎各校授業研への相互参加 ◎中学校校務主任・小中教員による合同授業	◎HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)(年3回) □エコキョウ・ブルトッパ回収 □3校合同あいさつ運動 □中学生による小学生への絵本の読み聞かせ(紙芝居) □中学生による小学校クラブへのアシスタントティーチャー □福島ひまわり里親プロジェクト □HOT-STUDY(小6の中学校校務学習)の際の小中交流事業	◎3校PTA・育友会保護者懇談会 ◎大久保青少年協会の主催大会参加	◎全国学力・学習状況調査・府学力診断テスト、CRTテストの結果分析と課題解決に向けた取組の検討及び実施 ◎授業カード・授業システム等の確認 ◇「家庭学習の手引き」の活用	◎中学校教員の小学校校務研修 ◎小学校教員の中学校校務研修 ◎中学校校務主任・小中教員 ◎HOT-STUDY(小6の中学校校務学習)の際の小中交流事業	
8 東 宇 治 中 B	◎「命を輝かす人間」 □ブロック運営委員会(校長・教頭・コーディネーター・小中連携加配)・ブロック校長会議・ブロック教頭会議 □コーディネーター会議・推進3部会 □小学校教務主任 ◇【府・英語】運営委員会に参加	◎小中合同研修会 (5/30・8/23・11/17)	◎小中合同研修会+合同学年会 (8/21)	◎小中合同授業研究会(11/17) ・三宅小学校	◎小学生の中学校校務入学生徒会(11/8) □エコキョウ回収運動(セシモニ 2/15) □花博ボランティアによるプランター贈呈	◎PTA(育友会)保護者合同研修会(11/15) ◎おおきくまつり(東宇治ふれあいネット)参加	◎ブロック児童生徒の学力分析 □授業で使用する新書カードの統一 ◇「家庭学習の手引き(保存版)」の配布	◎中学校よりスクールライフサポートブックを小学校6年生に発行 ◎先スタ(中学入学者の学習)の配布(小学6年)	
9 木 幡 中 B	◎「故郷(ふるさと)で夢や希望をくぐり、未来を切り拓く児童生徒」 □ブロック校長会・ブロック教頭会・一貫教育推進委員会・8教科部会・6領域連絡会 □中学校教務主任 ◇【府・理科】	◎小中合同研修会3回 (6/15・8/22・11/18)	◎夏期研修会(8/22)	◎小中合同授業研究会(11/18)	◎小学生半日体験入学生徒会・生徒会交流(あいさつ運動・生徒会通達)の各小学校巡回展示等 ◇三校交流による小・小連携 木幡小・笠取小・笠取第二小・柳井山小・笠取小・笠取第二小 11/25	◎青少年協会で取組紹介 ◎運動会・体育祭・文化祭へ相互参観	◎「学習のてびき」作成・活用	◎中学校の「生活便り」を6年生に(笠取小・笠取第二小は、5・6年生に)配布 ◎6年生卒業後の春休み宿題(国語・算数・英語)	
10 黄 葉 中 B	◎「高い志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く人間を育成する」 □小中一貫体の組織を構成 □小学校教務主任 ◇【市・英語】	◎年3回程度の合同研修会	◎夏期研修会 ・講演 上田智子府指博主事	◎3ステージ毎に授業研究会の実施 ・教科部会において参観並びに交流 ・各教科部会毎の授業研究会の実施	◎黄葉ウォーカー(1,9年生の交流) □体育大会・文化祭での交流 □OBAKUミニーシング(6,7年生の交流) □学園会組織 □「宇治学」特科による5～7年生合同学習	◎校内環境整備作業 ◎子どもフェスティバル ◎左衛門参加 ◎保護者のための進路セミナー	◎学力診断テスト活用 ・夏期研修において府学力診断テスト、CRTの分析報告	◎英語教育強化地域拠点事業	

平成28年度 宇治中学校ブロック小中一貫教育

教育目標

ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざす子ども像

ともに学び、考える児童生徒
たくましく生きる児童生徒
笑顔を大切にする児童生徒

推進組織

校長会

教頭会

事務局(校長・教頭・コーディネーター)

6専門部会

取組の実際

宇治学部会

○公開授業の実施(11/22)
菟道小学校で実施した。事前研の中でしっかり検討したことが良かった。
○来年度は、宇治学の小・中の接続のカリキュラムの検討・交流を行う。

授業づくり部会

○公開授業の実施(10/12)
菟道第二小学校で算数の公開授業を行った。事前研・事後研も活発に行われた。
○授業規律の交流
教室の掲示(話法・聴法)、ハンドサイン、話型などについての交流を行った。
○京都府学力診断テストの分析・交流を行った。中学1年生のテスト分析をもとに、小学校でも交流できた。

交流・連携部会

○クラブフェスティバル(12/10)
ふるさと宇治21で部活動体験をスタンプラリー形式で実施。
○駅伝合同練習(10/21,10/28)
各小学校にて、宇治中陸上部との合同練習を実施。
○菟道小学校鼓笛隊と宇治中学校吹奏楽部の合同練習会は日程調整ができず実施することができなかった。

生徒指導・教育相談・特別支援教育部会

○交流を中心に行った。今年度2つの専門部会を1つにしたため、大きな組織となった。来年度は、部会の持ち方等を工夫し、より深い交流、分析、対策ができるようにしていく。

特別活動部会

○新入生体験入学(11/9)
中学校生徒会本部役員がすべてを運営した。小学校からの要望を可能な限り受け入れて実施した。
○児童会・生徒会合同研修会(12/22)
リーダーとしての自覚が深まった研修会になった。小学校で事前にアンケートをとり手引きを共同で作成することができた。

人権・道徳部会

○公開授業の実施(11/25)
菟道第二小学校で道徳の公開授業を行った。部員の参加も多く、事前研・事後研もしっかり行い研修することができた。
○各校の道徳の実践について、教材を持ち寄り様々な教材について交流することができた。

成果と課題

- ・ブロック校長会、教頭会を組織として位置づけられた。コーディネーター会議で立案したものを事務局会議で検討し実施することができた。
- ・3つの専門部会で公開授業とそれに伴う事前研・事後研が実施でき、多くの部員が参加できた。
- ・クラブフェスティバルや駅伝合同練習をスムーズに実施することができた。児童会・生徒会合同の研修会を実施し、手引きを作成し小学校に掲示することができた。
- ・小中一貫教育校だよりを発行し、分散進学である神明小学校の記事も掲載し好評であった。学校だよりを配布したり掲示し保護者や地域の方に学校の様子を知ってもらうことができた。また、ふるさと宇治21は地域の方と協力して行うことができた。
- ・ブロック教頭会をより機能させる工夫が必要である。
- ・部会の持ち方等を工夫し、より深い交流、分析、対策ができるようにしていく必要がある。
- ・ホームページを活用して、保護者・地域への啓発・発信を進めていく必要がある。

平成29年度に向けて

- ・教頭会、事務局会議、コーディネーター会議の更なる活性化を図る。
- ・部会の持ち方等を工夫し、より深い交流、分析、対策ができるようにする。
- ・ホームページの活用を進めていく。

ブロック小中一貫教育目標

「質の高い学力を目指し、授業改善をすすめる」

めざす子ども像

・自ら考え、自発的に表現できる子(知) ・人と地域のつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子(徳) ・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子(体)

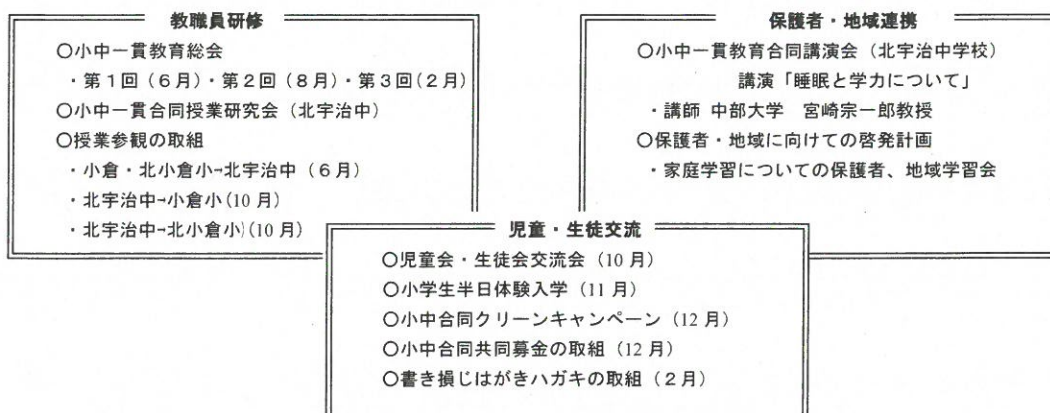
今年度の取組

【推進組織】

H28年度 組織体制…組織図、構成



【取組の概要】

H28年度の成果と課題

- ・新しい組織体制のもと、学力面を中心に小中一貫教育の推進が図れた。
- ・学力充実を中心に、小学校と中学校の連携を一層深めていく。

来年度に向けて

- ・系統的、継続的取組を通して、学力充実を中心に小中一貫教育の推進を図る。

平成28年度 榎島中学校ブロック

小中一貫教育 マキシマム・プラン

小中一貫教育目標とめざす子ども像
「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」

- 心身共に健康で、明るく活動する子
- 意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
- 地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

今年度の重点

★榎島中学校ブロック研究テーマ

“話し合い活動(対話的な学び・主体的な学び)”をテーマにした授業作りについて

目的：話し合い活動を充実させることで児童生徒の意欲的な学習活動につなげ、授業を通して子どもの力をつけていく。

取 組

教 職 員 研 修

- 小中合同研修会(6/15 榎島中)
- 小中合同部会・教科部会(8/18 北榎島小)
- 小中合同公開授業研究会(11/18 北榎島小)

児 童 生 徒 交 流

- 陸上運動交歓記録会(10/7)
- 中学生の職場体験(10/26～28)
- 小学生の中学校体験入学(11/9)
- 児童会・生徒会挨拶運動(12/13～15)
- 小中学生主張交流会(3/3)

保 護 者 地 域 連 携

- 北榎島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」(8/6)
- 榎島小学校区左義長(1/14)
- 北榎島小学校区餅つき&クリーン運動(1/21)

成果と課題

◇各校コーディネーターが連携し、連絡・調整・共通理解を進め、取組を計画的に実施することができた。

◇教職員研修では、ブロックの学力分析やそれを踏まえた合同研究授業を4教科領域で実施し、児童生徒の課題に迫る研究を推進することができた。

◇合同研究授業については、系統的・統一的な指導のあり方を追究する機会として、継続・発展させていく。

平成29年度に向けて

◇今年度に引き続き、平成29年度榎島中学校ブロックの授業作りのテーマを「話し合い活動(対話的な学び・主体的な学び)」に設定し、榎島小学校が取り組んでいる家庭科研究の小小連携・小中連携を機能させながら、児童生徒の授業意欲を向上させるための授業作りに向けた研究を進めていく。

小中一貫教育目標

小中 9 年間を通して 地域と共に 子ども達の ゆたかな心と 確かな学力をはぐくむ
めざす子ども像

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気をつけ 自らの目標に向かってがんばる子

【今年度の取組】**推進組織**

- 「学力充実・向上部」「生徒指導部」「児童生徒交流部」の3部会による各担当コーディネーターを中心とした課題の解決に向けた取組

教職員研修

- 合同研修会
 - ・夏季合同研修会（8月18日）
 - ・合同研究会後の課題別研修会
- 公開授業（3年～6年）及び合同研修会
 - ・南小倉小（11月9日）
- フリー参観
 - ・西小倉中（5月31日）
 - ・西小倉小（11月24日）
- 南小倉小学校2年授業研（6月24日）
佛教大学原教授来校、授業参観、事後研

家庭・地域連携

- 家庭学習の充実に繋がる意識アンケートを実施
- 「一貫教育だより」や「学校だより」、またHPによる取組の発信
- 各校の「一貫教育コーナー」(掲示板)を充実
- 3校合同地域懇談会の実施(7月1日)
- 「小中一貫教育推進ニュース」の発行(3回)
養護教員部会と連携し保護者向けニュースを発行

学力充実

- 家庭学習の手引きの配布
- 自主学習ノートの活用による家庭学習の充実
- 板書カードを新しく作成・三校に配布
「授業の約束」を小学校に配布
- 学力実態・分析
- 家庭学習アンケートの実施（6月）
- 春休み学習課題（6年）の検討及び配布

児童生徒交流

- 職場体験(6月14日・15日)
- 小中合同学習会・募金活動
 - ・合同学習会(12月7日)
 - ・募金活動(12月14日) 近鉄小倉駅前
- あいさつ運動(中学生職場体験と合わせて)
- 地域の行事に中学生が参加

小中のスムーズな接続のために

- 教科連携加配(体育)の中学校教員による小学校6年生の指導
- 小学校高学年における教科担任制授業
南小倉小6年理科と社会の交換授業実施
- 西小倉中学校体験入学(11月29日)
・6年生の中学校生活体験(授業・部活動体験)
- 小中連絡会(5月31日・3月)

学生ボランティアの活用

- 学生ボランティア会議の実施
- 研修会・授業研・事後研への参加
教師と学生ボランティア、学生ボランティア同士の学び

【平成28年度の成果と課題】**〈成果〉**

- ・合同公開授業後の課題別研修会では、「家庭学習」「基礎学力」等テーマを絞り交流することで、内容が焦点化され、具体的な取組や課題を交流し合えた。
- ・家庭学習アンケートを三校で実施し、各校の家庭学習の実態を知ることができた。
- ・ノーメディアウィーク前のスマホ・ケイタイに関する保護者向けプリントを養護教員部会と協力して作成し、保護者への啓発が図ることができた。

〈課題〉

- ・小小連携として計画していた宇治学交流会が実施できなかった。計画で終わらないように、年度末の反省、来年度の方針性の確認、日程調整を含め思いを共有した上で実現できるようにしたい。

〈来年度に向けて〉

- ・研修会等を通して、人間関係力と学力との関係を確認し授業における人と人との関わりを深めることの重要性は確認できている。来年度は、確認してきたことが、どのように学級経営や教科指導に生かされてきたか、今後どのように進めていくのか、授業改善の視点に立ち取組内容を考えていきたい。

ブロック小中一貫教育目標

N・I・S目標 「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

めざすこども像

○徳(つながる力)温かい心で助け合う子、節度をもった礼儀ある子、違いを認めあえる子

○知(展開する力)深く考え、よく聴き意欲的に表明する子

○体(挑戦する力)ねばり強く諦めない子、基本的生活習慣や健康を配慮できる子

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック推進体制の工夫や充実
 - ・ブロック校長会を月 1 回開催し、進行管理をする。
 - ・ブロック教頭会を必要に応じ開催する。
 - ・コーディネーター会議(月 2 回)、推進会議(月 1 回)を定期的に行い、本ブロックの取組内容及び成果を検証しつつ推進する。
 - ・領域 3 部会(学力充実部会・児童生徒理解部会・児童生徒交流部会)を定例で開催し、課題の共有化を図る。
 - ・コーディネーターを核とした推進会議による事業計画の具体化を行う。
 - ・推進会議を受けて、領域 3 部会における取組を充実させる。
 - ・コーディネーター会議を 3 校を回って開催するなど、児童の実態や状況を正確に把握し、小中の連絡調整や取組の改善・充実に努める。
 - ・中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
教科連携教員による外国語授業を継続する。
小中合同研修会を設定(6月 8月 10月)する。
輪番制による公開授業研究を行う。
 - ・学力充実部会及び児童生徒理解部会における取組の具体化を行う。
 - ・コーディネーター会議において、本ブロックにおけるいしずえ学習、宇治学の指導計画をはじめとした取組を検証し、改善を図る。
- (2) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・合同研修会において各教科部会を充実させ、昨年度の年間指導計画を改善する。
- (3) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ・チーフコーディネーターを随時小学校へ派遣し、児童の実態把握、小中の連絡調整、相互連携授業を強化する。
 - ・合同研修会各教科部会の一層の充実を図り、公開授業研究会を計画的に実施する。
 - ・領域 3 部会機能を活性化する。
 - ・小小連携を充実する。
 - ・相互連携授業を充実させる。
- (4) 家庭・地域社会との連携
 - ・学期 1 回広報誌を発行する(コーディネーターが作成)。
 - ・小中一貫教育掲示板を 3 校ともに見えやすい位置に設置し、内容の充実を図る。
 - ・各校学校便りやHPで取組状況を広報する。
 - ・中学校での授業参観実施時に小学校の保護者に参加案内を行う。

H28 年度の成果と課題

- ・例年通り、小中合同の研究授業を行うことができた。また、それに伴う事前・事後研修も充実した取組となった。
- ・研修会後も部会を設定し、小中合同の取組を活発に行えた。
- ・小中一貫の取組において、取組内容を見直す課題も残った。
- ・保護者への啓発が十分ではないため、NIS 便りの継続的な発行と、HP、学校説明会等、啓発活動が必要である。

来年度に向けて

- ・養護教諭部会の設定
- ・小中統一したもので生活調べの共有
- ・小中とも研究授業のときだけでなく、普段の授業を参観
- ・小学校の土曜参観への中学校の参加

ブロック小中一貫教育目標**めざす子ども像**

夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック推進体制の工夫や充実
 - ・ブロック校長会をふまえ、コーディネーター会議及び推進委員会の計画的実施
 - ・ブロック校長会の指導に基づく推進計画の立案・改善充実
 - ・コーディネーター会議及び推進委員会等における教科連携加配教員の効果的な活用
 - ・チーフコーディネーターの定期的な学校訪問
- (2) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・公開授業参観の実施
 - ・事前研・事後研を含む授業研究の実施
 - ・小中教員が協働で指導案を作成し、チームティーチング授業を実施
 - ・外国語活動英語部、学力充実部及び連携授業（理科）の年間を通じた交流、授業研究、学力分析
 - ・小小連携授業の実施
- (3) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ・小学 6 年生の授業体験・部活動体験の実施
 - ・中学生による小学生指導支援（野球部・卓球部）
 - ・小中合同地域清掃ボランティア活動の実施
 - ・児童会生徒会合同あいさつ運動の実施
 - ・西大久保小学校での帰国外国人児童生徒理解学習の実施
- (4) 家庭・地域社会との連携
 - ・他校に学校だよりを配布
 - ・地域に学校だよりを配布
 - ・「小中一貫教育だより」を校区の保護者対象に年 3 回発行
 - ・小中合同あいさつ運動への保護者の参加

H28 年度の成果と課題

- ・年間計画に基づいて、ブロック校長会の指導の下、児童・生徒の交流を数多く持ち、小中間のつながりを深めることができた。
- ・宇治学において、両小学校の教員が相互に授業を行った。また、道徳の教科化に向けて両小学校合同で研修ができ、小小連携の取組ができた。
- ・「ことばの力」育成に向けて、三校合同研修会で読書へのアニメーションをテーマに、読書指導の方法を学ぶことができた。
- ・学力の向上をいかに進めていくかが大きな課題である。

来年度に向けて

- ・ブロック校長会の指導の下、児童・生徒の交流が実りあるものとなるよう、南宇治中学校ブロックの特色を大いに生かした内容を吟味していく。
- ・「ことばの力」育成に向けて、学校司書を活用した授業展開をさらに進めていく。
- ・学力向上のため、各校の実態に応じた方策を講じていく。



宇治ひろの学園 (広野中学校ブロック)

広野中学校
大久保小学校
大開小学校

宇治ひろの学園 教育目標 : 夢や希望をもって未来を切り拓ける児童生徒の育成

推進組織

学校運営部会
(3 校長)



事務局部会
(コーディネーター部会)



学力部会

児童生徒理解部会

児童生徒交流部会

その他の部会

小小学年部会

28 年度の取組

★児童生徒が交流する取組

- ・HOT-MEETING (3 校合同児童生徒会) の実施
- ・HOT-STUDY (中学校 新入生半日入学)
- ・3 校でのエコキャップ・プルタブの回収
- ・クラブアシスタントティーチャー (中学生の小学校クラブへの参加)
- ・中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
- ・福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他

★学力充実の取組

- ・板書カード・授業システム・家庭学習の手引き
- ・全国学力・学習状況調査、府学力診断テスト、CRT テストの結果分析と課題の共通理解
- ・小学校高学年での「教科担当制」
- ・中1 振りスタへの小学校教員の参加 他
- ・中学校定期テストへの不安軽減の取組

★教職員が交流・共同研究する取組

- ・宇治ひろの学園研究会の開催 (5 月総会、8 月夏季合同研修会)
- ・2 小学校教員による小中交流の充実
- ・各校授業研究会への参加
- ・小学校教員による中学校の部活動見学
- ・中学校教員による小学校体験研修の実施 他

★保護者・地域と交流する取組

- ・広野中学校吹奏楽部定期演奏会 in 大久保小学校「オータムメモリーコンサート」の開催
- ・3 校合同地域懇談会の開催
- ・3 校合同学校評議員会議の開催
- ・子どもの主張大会 (大久保学区青少協主催) 他



平成 28 年度の成果

- ・児童会、生徒会を中心に多彩な取組を進めることができた。
- ・小中一貫教育を支える小小連携に力を入れ取組を進めることができた。
- ・3 校の授業研究会へ参加し合い、各校での「伝え合う力」を育てる授業の研究に生かすことができた。
- ・昨年度の市の小中一貫教育についてのアンケート結果を受け、中学校定期テストへの不安軽減の取組を計画し、実施することができた。
- ・3 校合同での地域懇談会や学校評議員会議を開催するなど、学校、家庭、地域で連携・協力しながら小中一貫教育を進めることができた。
- ・3 校の行事予定表や HOOP (宇治ひろの学園小中一貫だより) を作成して家庭や地域に配付し、小中一貫教育について積極的に情報発信することができた。
- ・他地域からの視察を受け入れ、本学園の小中一貫教育の取組を広めることができた。

平成 29 年度に向けて (課題)

- ・各校の教職員の交流や共同研究を充実させ、教職員の意識や日常的な取組を定着させる。
- ・小小連携を更に充実させて有効活用し、無理なく効果的な小中一貫教育の取組を進めていく。
- ・中学校ブロックとして、学力充実に焦点化した取組をさらに推進する。(宇治ひろの学園共通問題の作成・実施 等)
- ・家庭、地域に対して「目に見える取組」をさらに展開していく。

小中一貫教育の全体像

教育目標

「命をかがやかす人間」

めざす児童・生徒像

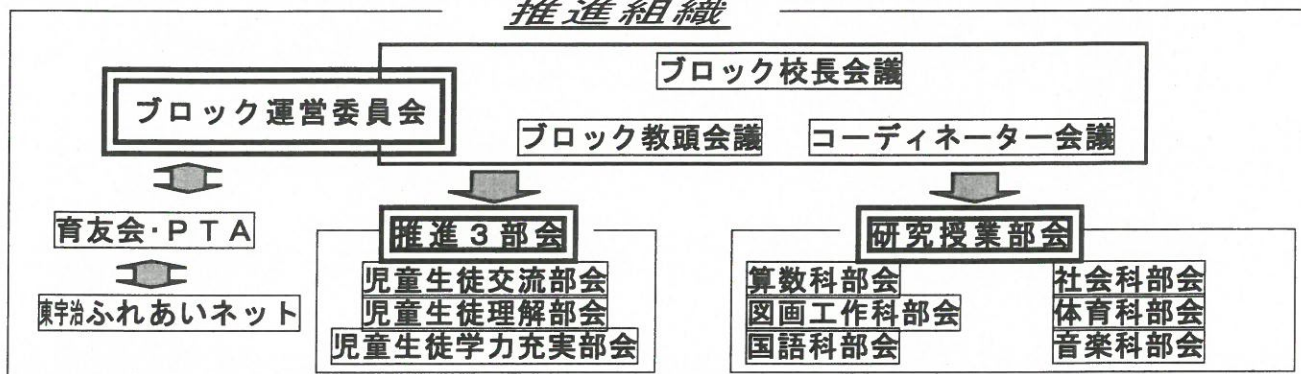
「自ら学び学習する児童・生徒」

「思いやりのある児童・生徒」

「たくましく生きる児童・生徒」

「健康や安全を考える児童・生徒」

推進組織



取組の実際

教職員研修

- 小中合同研修会(5/30・8/23・11/17)
- 小中合同研究授業(11/17 会場:三室戸小)
- 相互授業参観
 - ・小学校から中学校授業参観(5/30)
 - ・中学校から小学校授業参観(6/6)
- 教職員広報の発行
- 4校学校便りを教職員へ配布
- 3小合同研修会+合同学年会(8/21)
- 中学1年ふりスタへの小学校教員支援
- 東宇治中ブロック児童生徒の学力分析

家庭・地域との連携

- 小中一貫教育便りの発行
- 「家庭学習の手引き」(保存版)の配布
- PTA・育友会 保護者合同研修会(11/15)
- 小中一貫教育コーナー(掲示板)の設置
- 小中一貫教育リーフレットの配布(小学1年・転入生)
- 「おおばくまつり」(東宇治ふれあいネット)

児童・生徒交流

- 小学6年生の中学校体験入学(11/8)
- 中学2年生の小学校での職場体験(5/26・27)
- エコキャップ回収運動(セレモニー2/15)
- 中学生の美術作品巡回展示(2学期)
- 花植ボランティアによるプランター贈呈
- 地域行事での交流

小中スムーズな接続のために

- スクールライフサポートブック配布(小学6年)
- 先スタ(中学入学前の学習)の配布(小学6年)
- 小学6年生の中学校体験入学(11/8)
- 小中連携教員による外国語活動指導(小学6年)
- 東宇治中入学保護者説明会(12/1)
- 小中連絡会(5/16・12月・2月)
- 中学校学校便りを小学6年生に配布
- 授業で使用する板書カードの統一化
- 研究授業評価シート・授業チェックシートの導入

小中一貫教育推進に関わって

- ブロック校長会議・ブロック教頭会議とコーディネーター会議の連携を強化し、小中一貫教育を推進する。
- ブロック校長会議のリーダーシップのもと、ブロック運営委員会が推進の方向性を確認しながら、取組の進行管理を行う。

成果と課題

- 本ブロック児童・生徒の実態を踏まえ、授業や指導を通じた小中合同の研究・取組を進めることができた。
- 様々な形式での児童・生徒交流や地域・家庭連携のための情報発信・取組を積極的に進めることができた。
- ブロック校長会議・ブロック教頭会議のリーダーシップのもと、コーディネーター会議で調整を図りながら、様々な取組を推進することができた。
- 児童・生徒の学力課題や生活課題を一層明確にし、小中一貫教育の視点で、課題解決に向けた取組を進める必要がある。

平成29年度に向けて

- これまでの成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、「義務教育9年間の系統的・統一的な指導で確かな学力と生きる力を身に付ける」という視点で、取組の点検・評価・改善を進め、本ブロック小中一貫教育の一層の推進を図る。
- 推進組織各部の役割を明確にし、効率的・機能的に取組を推進する組織体制を確立する。

ブロック小中一貫教育目標

めざす子ども像 故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック推進体制の工夫や充実
 - ・ブロック校長会、教頭会と小中一貫教育推進委員会を常にリンクさせ、計画的に取組を推進
 - ・6領域連絡会および8教科部会の定例化を図り特色のある取組を推進
- (2) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・中学入学時の不安軽減へ向けての様々な取組を実施。
 - ※1年生の定期テストへの不安軽減対策を含む
 - ・中学校理科教員による全小学校での授業（通年、毎週）を実施
 - ・へき地校を含んだ小小連携授業を実施
 - ・合同研修会を通して小中教員のTTによる指導案の作成から研究授業を実施。（11月18日）
 - ・小中が継続的に一貫した目標で取り組む事で小中のなめらかな接続
- (3) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ①中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
 - ②中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
 - ・どの教科にも通じる「学び合い」「ことばの力」を大切にした授業づくり
 - ・年間3回の小中教員の合同研修会（6月15日、8月22日、11月18日）を柱にする
 - ・各領域連絡会は、既存の部会へその役目を移行する方向で可能な限り設定
 - ③中学校ブロックにおける児童生徒の交流事業、体験活動の充実
 - ア 小学生の中学校への体験入学
 - イ 中学生の部活動単位での交流
 - ・吹奏楽部による小学校での発表会 ・美術部による小学校作品展への展示発表
 - ウ 児童会、生徒会の交流
 - ・生徒会通信の各小学校回覧掲示
 - エ 三校交流による小小連携の取り組み
 - 6月 8日（水） 木幡小、笠取小、笠取第二小
 - 11月25日（金） 御蔵山小、笠取小、笠取第二小
- (4) 家庭・地域社会との連携
 - ・「小中一貫教育通信」（保護者、児童生徒向け）を定期発行
 - ・中学校の「生活だより」（毎月発行）を全6年生（笠取小・笠取二小は5・6年生）に配布
 - ・ホームページ等の活用

H28年度の成果と課題

- ・ブロック校長会の指導のもと、推進委員会で意見交流しながら児童・生徒交流や教員交流が深められた。
- ・小小連携や小中連携の各種取組は、しっかりとブロック内に定着し滑らかな小中接続に貢献している。
- ・小中合同研修会の持ち方や、領域連絡会の持ち方などは、今後も検討する。

来年度に向けて

- ・小中合同研修会での研究授業は、「学び合い」「ことばの力」を大切にした授業を行う。
- ・今年度の総括を活かしブロックの取組を展開していく。

ブロック小中一貫教育目標**めざす子ども像**

- ・ 高い志を持って、学びの道を究める人（質の高い学力）
- ・ さわやかな心、優しい心を持った人（豊かな人間性・社会性）
- ・ 強い意志を持って、人生を切り拓く人（意欲や情熱、健康な体）

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
小中で一つの組織と考え、打ち合わせ・職員会議・研修会を小中合同で行う。その中で、適切な小中一貫教育推進のために、教職員の情報交換と意思統一を確実にし、随時、計画・取組についての点検・評価を行っていく。
- (2) 中学校ブロック推進体制の充実
企画委員会、前期主任会、中後期主任会等の会議を設置し、ステージ毎の学習内容・生徒指導についての意見交換、指導方針の確認等を行っていく。その中で、小中一貫コーディネーターがパイプ役となり、前期・中後期主任会それぞれでの会議内容の共有化を図っていく。
- (3) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
〈学習指導〉
教育課程編成における3学年部（4・3・2制）の促進と相互連携の研究や発達段階に応じた指導法の開発を行う。
〈生徒指導〉
9年間の継続的な生徒指導を進めるために、生徒指導部長、主任、学年主任を中心にした生徒指導を進める。課題を小中で共有化し、規範意識の確立と自尊感情の醸成を行う
- (4) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
共に学び、共に活動できる児童生徒を目指して、異年齢集団活動を実施する。児童会、生徒会それぞれに独立した組織づくりではなく、学園会を組織して、小学生、中学生という枠組みを超えた学園の一員であるという意識を育む。
- (5) 家庭・地域社会との連携
育友会行事への教職員・部活動生徒の積極的な参加、地域懇談会への教職員の参加、親のための進路セミナーの開催を通して家庭・地域社会との連携を深める。

H28 年度の成果と課題

1～9年生が共に過ごす中で、自然と下級生は上級生の背中を見て学び、上級生はその自覚を持つことで自律的な態度を身につけている。児童生徒の発達段階の特性を考慮した、前期・中期・後期の3ステージを意識した指導体制、学校行事への相互乗り入れの参加により、小中のなだらかな接続が「中1ギャップ」の解消に繋がり、9年間を通した自己実現力の育成にむけて実践を重ねることができた。今後、英語教育の拡充強化、高度化、その基盤となる伝え合う力を高める実践研究をさらにすすめていく必要がある。

来年度に向けて

平成29年度は、これまでの成果を継承していくとともに、児童生徒、保護者、地域の皆様の声に真摯に耳を傾け、より教育効果の高い実践を進めていきたい。また、英語教育の早期化、教科化、高度化と、その基盤となる、温かい集団作り、伝え合う力の育成をさらに学園全体で充実させていきたい。

平成28年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告

1 協議会の活動

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善について意見の交換等を行う。

2 28年度の活動計画

(1) 協議会（年2回開催予定）

①第1回協議会 7月29日（金）

②第2回協議会 2月～3月開催予定〔年度末進行管理〕

※本協議会は必要に応じて会長が招集する。（本協議会設置要項第6条）

(2) 取組視察（2学期予定）

中学校ブロックの取組を視察し、その後現地にて交流・協議を行う。

- ・視察受け入れ可能な取組を委員が選択し参加する。
- ・学校と小中一貫教育推進協議会委員の交流・協議の場をもつ。
（管理職や小中一貫教育コーディネーター等に対応をお願いする）

(3) プロジェクトチームの設置

本年度はプロジェクトチームの設置予定なし。

3 28年度の活動報告

(1) 協議会

①第1回協議会 7月29日（金）

②第2回協議会 3月14日（火）

(2) 取組視察

日 付	視察校〔中学校ブロック〕	取組内容	視察委員
10/12（水）	菟道第二小学校〔宇治中ブロック〕	小中合同研修会	榊原会長 中本委員
10/14（金）	西大久保小学校〔南宇治中学校ブロック〕	6年生帰国児童生徒理解学習	榊原会長 内田委員
10/21（金）	北宇治中学校〔北宇治中学校ブロック〕	小中合同授業研究会	船川委員
10/26（水）	西宇治中学校〔西宇治中学校ブロック〕	小中合同研修会	石田委員
11/9（水）	南小倉小学校〔西小倉中学校ブロック〕	小中一貫合同授業研究会	榊原会長
11/17（木）	三室戸小学校〔東宇治中学校ブロック〕	小中合同授業研究会	松井委員 井戸委員
11/17（木）	宇治黄檗学園〔黄檗中学校ブロック〕	学園会選挙	天花寺委員
11/18（金）	広野中学校〔広野中学校ブロック〕	HOT-STUDY	薮副会長

※8中学校ブロックの取組視察を実施

※委員視察時に視察ブロック関係者と意見交流や協議を実施

〔学校関係者委員視察時を除く〕

平成28年度 宇治市小中一貫教育に係る視察受入状況

日付	団体名		人数	視察先
4月21日（木）	桑名市教育委員会事務局	三重県	4	宇治黄檗学園
6月9日（木）	佐川町校長会	高知県	7	大久保小学校
7月6日（木）	桑名市学校教育あり方検討委員会	三重県	23	宇治黄檗学園
12月8日（金）	遠賀町小中一貫教育研究会	福岡県	3	大久保小学校
12月13日（水）	乙訓小中学校事務研究会	京都府	30	宇治黄檗学園

（平成29年2月末日現在）

*計5団体、67名